



「科学へのとびら」第5期受講生が修了

【概要】

令和4年6月19日（日）に、佐賀大学で「科学へのとびら」が開催され、第6期生（高校2年生）と第5期生（同3年生）が受講しました。また第5期生を対象に修了式が開催されました。

【本文】

佐賀大学では高大連携プロジェクト事業の一つとして、「継続・育成型」の高大連携カリキュラムである“とびら”シリーズを佐賀県教育委員会と協力して実施しています。理工学部と農学部で運営している「科学へのとびら」が、令和4年6月19日（日）に両学部の教員により行われました。

第6期生（高校2年生）対象のプログラムでは、「科学の多様な研究分野を知る」と題して、理工学部から林 喜章 助教，農学部から西田 翔 准教授，井上奈穂 准教授による研究紹介がありました。参加した生徒からは活発な質疑が寄せられました。

第5期生（高校3年生）対象のプログラムでは、「求められる人材像と振り返りの意義」として、理工学部 長田 聡史 教授による講話が行われ、生徒たちは自身のこれまでの活動の振り返りを熱心にワークシートにまとめていました。また、「科学へのとびら」第1期生で、現在佐賀大学理工学部4年の徳丸 七生さんが自身の卒業研究を説明するとともに、科学へのとびら受講時の経験がどのように活かしているかを話し、受講生にエールを送りました。生徒からは進路選択などに関する質問が相次ぎました。第5期生のプログラムは、これまで新型コロナウイルス感染症の影響によりすべてオンラインで行われていたため、佐賀大学内での対面実施は今回が初めてでした。

この後行われた第5期生の修了式では、理工学部長 豊田 一彦 教授，佐賀県教育庁 石崎 真理子 指導主事より挨拶があり，農学部長 大島 一里 教授臨席のもと，豊田 一彦 理工学部長から修了証が参加校の代表者3名に授与されました。

受講生の今後の進路でのさらなる活躍を祈念しています。



第5期生の修了式



第 6 期生の受講会場